

火の魂ファミリーへ、2016年8月の1ヶ月もお疲れ様でした。

8月より株式会社火の魂カンパニー第8期を迎えることになり、これも社員の皆の努力と成長の賜だと思います。本当に7期もありがとう、そして8期もよろしく願います。

それと昨年まで経営計画発表会で全員が集まりバーベキューやっていましたが、今年は正社員の数も増え、理念共有を社員から行うべきと判断し、社員のみで開催することになりました。来期はパートナー(アルバイト)も込みでイベントを開催したいと考えているので楽しみにして下さい。

さて！8月の社長からの手紙は「ウサギとカメの話」をしたいと思う。

一般的に語られているウサギとカメの話は、簡単にいうと、足の速いウサギと足の遅いカメが競争して、ウサギは自分の足にうぬぼれて、途中でさぼってしまい、結果的に足の遅いカメが勝つという話だと思う。

この話の教訓は、「能力があっても油断は大敵だ」とか、もしくは「能力が無くてもコツコツと地道な努力を続ければ報われる」という意味でしょう。

更に、この物語の見方を変えれば、次のような教訓になると思います。

## 「ウサギはカメを見ていた。しかしカメはゴールを見ていた。」

一見、二匹はお互いを意識しているようだけど、しかしカメは最初からウサギのことなど関係なくひたすら自分の決めたゴールに向かって歩いていたのです。

それに比べ、ウサギはゴールよりもカメを見て余裕で勝てる気を抜いて油断しているうちに負けてしまったのです。

この童話の伝えたい事は、ウサギとカメの勝敗ではなく、カメのゴールに向かう姿勢こそが物語の教訓だという事です。

これを我々の人生に置き換えると、周りの動向や他人と自分を比較したり、自分より能力のある人を見て、自分を責めたり挫けたりするのではなく、例え、人より能力が無く成長が遅くても、自分が決めた「道」や「理想の自分」を自分のペースでコツコツと諦めずに努力し続ければ、必ずゴールに辿り着き自分自身の勝利をつかむことが出来るのです。

人は自分自身が上手く行かない時に、他人と比較してしまう時があります。

そんな上手く行かない時こそ、私が言う「ウサギとカメの話」を思い出して欲しいのです。

自分が決めた道、どんな未来にしたいのか？私たちは、のろまなカメが良いと思う。

結果的に、他人が納得する人生でなく、自分が納得する人生を生きたいからね。

私もそうだけど、火の魂カンパニーは地道に努力する「のろまなカメ」を応援しています。